

オーラストリップの使い方

チオール濃度をクイックチェック！
OraStrip®
オーラストリップ®

標準的な方法のご紹介です。詳しくは取扱説明書をご参照ください。

チオールとは口臭の原因物質、口腔内嫌気性細菌の代謝産物です。

1



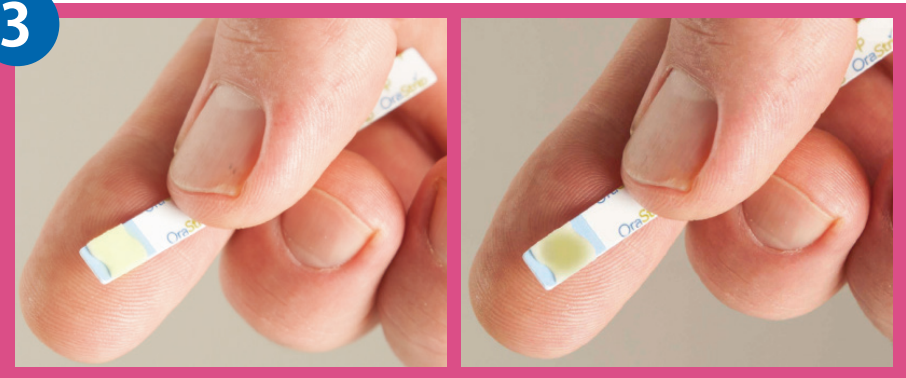
✓ **ステップ1:**本品のパッドがない方の面に人差し指を添えるようにして、本品をしっかり持ちます。十分な量の検体を採取できるよう、この持ち方をお守りください。

2



✓ **ステップ2:**パッドを上顎全周の歯肉縁(歯肉が歯に接する箇所)に当て、**穏やかに滑らせて**パッドに口腔内の浸出液(唾液、および歯肉溝浸出液)検体を染み込ませます。パッドを強く当てすぎると出血や歯垢が混入し、正しい結果が読み取れなくなることがあるのでご注意ください。

3



✓ **ステップ3:**本品を犬の口から取り出し、約10秒間保持します。本品のパッド部の発色を判定シートの色調サンプルと照合し、パッドの発色に最も近い色の番号を読み取り、判定結果とします。パッドの発色が不均一な場合は、最も色が濃い箇所に近い色の番号で判定してください。
判定結果は採取から5分以内に読み取ってください。

4

| | | | | | | |
|-------|---|---|---|-----|---|---|
| 検査日: | 年 | 月 | 日 | 名前: | | |
| 測定結果: | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| MEMO: | | | | | | |

チオールとは？

✓ 揮発性硫黄化合物 (VSC) と呼ばれる物質の一つで、口の中の嫌気性細菌の活動によって作り出されます。

✓ VSCには特有のニオイがあり、それが口臭の原因の一つとなっています。

オーラストリップで口の健康をチェックしましょう。

✓ 定期的なオーラルケアが口の健康管理には大切です。

✓ 本品は、口の健康管理の指標としてお使いいただけます。

OraStrip®
オーラストリップ®

bah 物産アニマルヘルス

✓ **ステップ4:**判定シートを裏返し、測定結果を記録します。検査日、患者名、測定結果、今後の指導内容等もご記入ください。

OraStrip® よくあるご質問

オーラストリップ®

Q. オーラストリップ®で何がわかりますか？

- ✓ 口腔内の液体成分（歯肉溝浸出液や唾液）に含まれる「チオール」を検出します。

Q. チオールとはどういう物質ですか？

- ✓ 硫化水素やメチルメルカプタンなどのSH基を有する化合物の総称です。揮発性硫黄化合物（VSC）とも呼ばれます。
- ✓ VSCは口腔内嫌気性細菌の代謝産物で、特有のにおいがあるため口臭の原因物質の一つとなっています。

Q. オーラストリップ®はいつ・どんなときに使えますか？

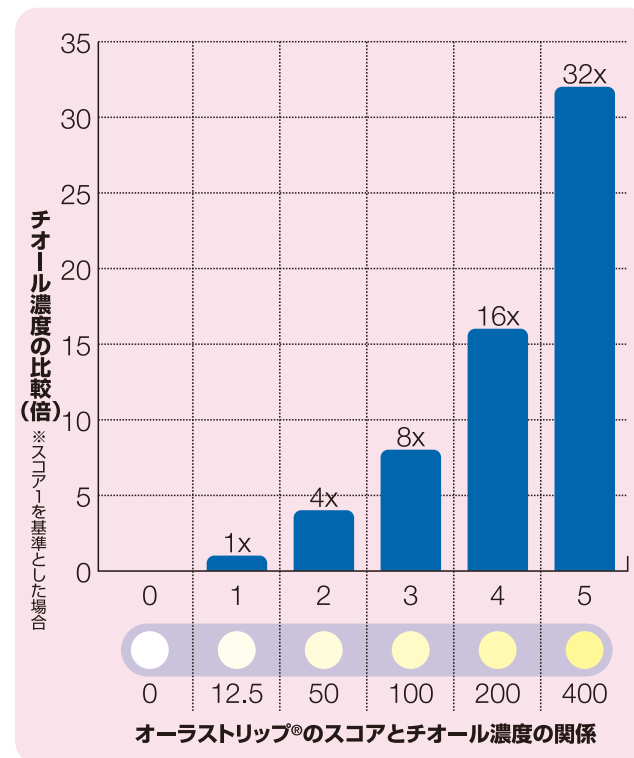
- ✓ ごく微量（12.5 μ M \sim ）のチオールを検出し、その濃度を5段階で示すため、口腔内嫌気性細菌の活動を敏感に捉えることで早い段階から口腔内の異常を検出するスクリーニングにご活用いただけます。

Q. スクリーニング以外に、どのように使えますか？

- ✓ 定期的に検査を行うことにより、口腔衛生状態の変化をモニタリングできます。

Q. スコアごとのチオール濃度の差は？

- ✓ 右のグラフはスコアとチオール濃度の関係を示します。
- ✓ 横軸はスコア1のチオール濃度を1倍とした場合の各スコアにおけるチオール濃度の倍率を示します。スコアの増加に伴いチオール濃度が大きく増加します。
- ✓ 例えば、あるときのスコアが「1」であった犬が、次に判定した場合「2」になったとすれば、チオール濃度（嫌気性菌の活動の結果）が当初の4倍量に増加したことがわかります（スコア「2」以降の間隔は、2倍量に増加したことがわかるように設定されています）。



OraStrip®

オーラストリップ®

検査値と指導計画

- ✓ スコア1以上の場合、歯周組織で嫌気性細菌がチオールを産生していることが検出されています。
- ✓ 従って、スコアがたとえ1でも、口腔内の衛生状態が正常ではなくなっている可能性があり、適切な処置を講じる必要があります。
- ✓ また、スコアが高くなるにしたがい、チオール濃度が増加（＝嫌気性細菌の活動が増加）することが示されます。
- ✓ 本検査のみで歯周病の診断はできません。検査結果に応じて、専門的な検査・治療を進めてください。
- ✓ また、ペットオーナーに歯周病の予防措置や家庭での口腔衛生の大切さについてもお話しください。
- ✓ 適切な家庭でのオーラルケアを継続するために、定期的な再検査による口腔衛生モニタリングをお奨めします。